

**Canon**

# NetSpot Console

## ユーザーズガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。  
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

**JPN**



# 本書の構成について

**第 1 章** ご使用の前に

**第 2 章** NetSpot Console を使用するには

**第 3 章** 付録

索引を記載しています。

- 
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。
  - 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気づきのことがありましたら、ご連絡ください。
  - 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

# 目次

---

はじめに .....	iv
本書の読みかた .....	iv
マークについて .....	iv
ボタンの表記について .....	iv
画面について .....	v
略称について .....	v
商標について .....	vi

## 第 1 章   ご使用の前に

---

NetSpot Console の特長 .....	1-2
必要なシステム環境 .....	1-5

## 第 2 章   NetSpot Console を使用するには

---

NetSpot Console をインストールする .....	2-2
NetSpot Console のインストール .....	2-2
Windows のファイアウォールの設定 .....	2-6
SSL の設定をする .....	2-8
証明書を作成する .....	2-8
自己署名証明書を作成する .....	2-8
認証機関から認証された証明書を作成する .....	2-10
証明書をインストールする .....	2-13
Web サーバの設定をする .....	2-14
NetSpot Console を使用する .....	2-16
NetSpot Console にアクセスする .....	2-16
デバイスを管理する .....	2-17
探索条件を設定する .....	2-17
デバイスのネットワークプロトコルの設定をする .....	2-17
NetSpot Console を管理する .....	2-17
NetSpot Console Manager を起動する .....	2-18
NetSpot Console Manager の使用方法 .....	2-18
NetSpot Console Manager をアンインストールする .....	2-18
NetSpot Console の詳しい使用方法 .....	2-19
NetSpot Console をアンインストールする .....	2-20

## 第3章 付録

---

トラブルシューティング .....	3-2
NetSpot Console の管理者のパスワードを忘れたとき .....	3-2
索引 .....	3-4

# はじめに



このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分に  
ご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みく  
ださい。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

## 本書の読みかた

---

### マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の説明に、下記のマークを付けていま  
す。

-  **重要** 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤っ  
た操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。
-  **メモ** 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおす  
めします。


### ボタンの表記について

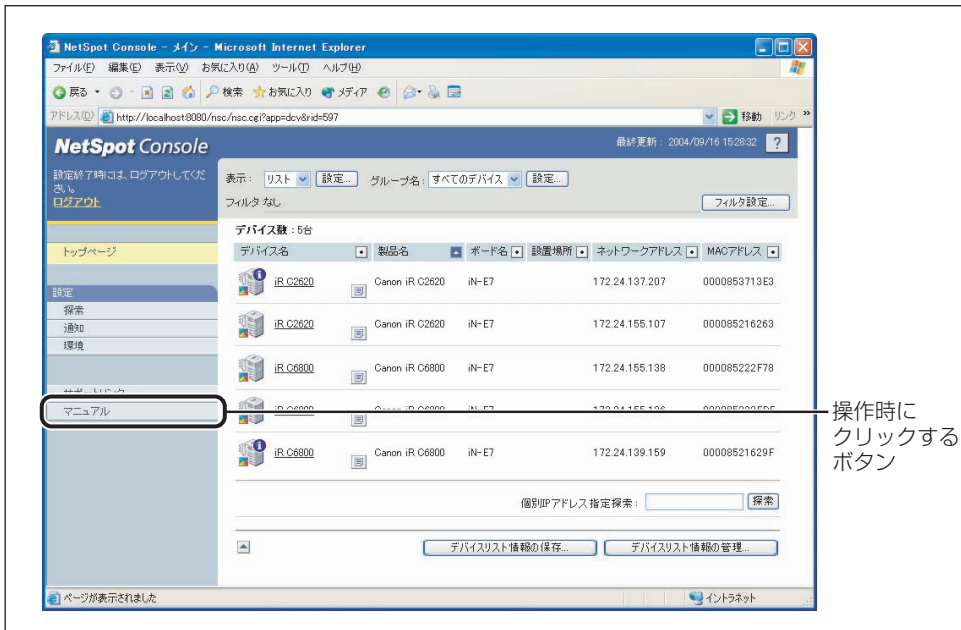
本書では、ボタン名称を以下のように表しています。

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]  
例：[OK]  
[設定]

## 画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、 (丸) で囲んで表しています。また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいます。



## 略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 :	Windows 98
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 :	Windows Me
Microsoft® Windows NT® operating system 日本語版 :	Windows NT
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 :	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 :	Windows XP
Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版 :	Windows Server 2003
Microsoft® Windows® operating system :	Windows

## 商標について

Canon、Canon ロゴ、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

IBM は、米国 IBM Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Netscape、Netscape Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation 社の商標です。

NetWare<sup>®</sup>、Novell は、米国 Novell, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

Sun、Sun Microsystems、Java およびすべての Java 関連の商標は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。



# 1

## CHAPTER

# ご使用前に

NetSpot Console の特長と必要なシステム環境について説明しています。

---

NetSpot Console の特長 .....	1-2
必要なシステム環境 .....	1-5

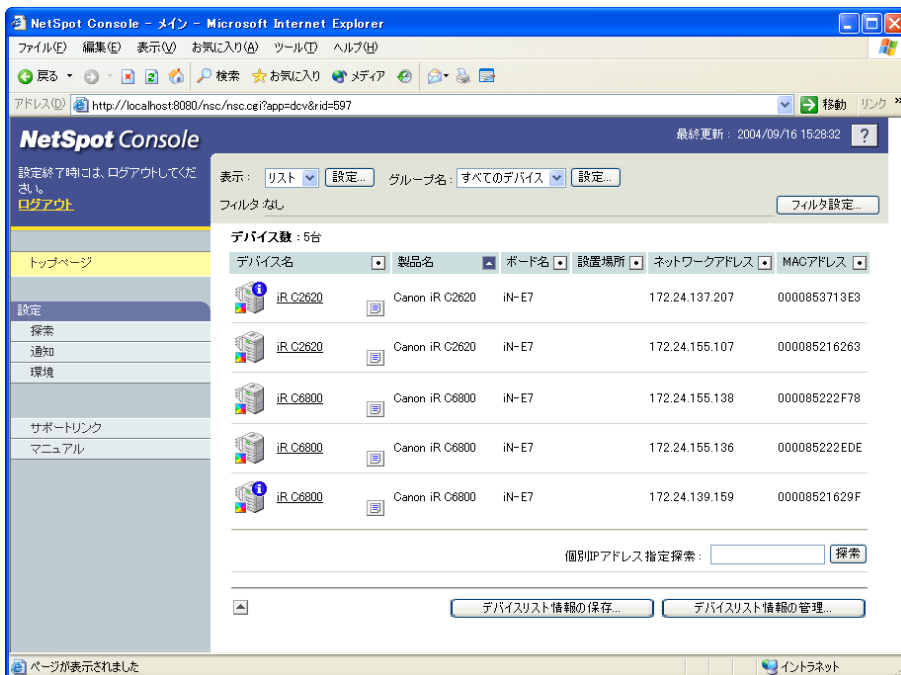
# NetSpot Console の特長

NetSpot Console は、お手持ちの Web ブラウザからネットワークに接続されているさまざまなデバイスに対してネットワーク管理やデバイス管理を行うためのソフトウェアです。

**重要** 本ソフトウェアの操作方法などについてご質問やご不明な点などがございましたら、デバイスの取扱説明書に記載されているお客様相談窓口までお問い合わせください。

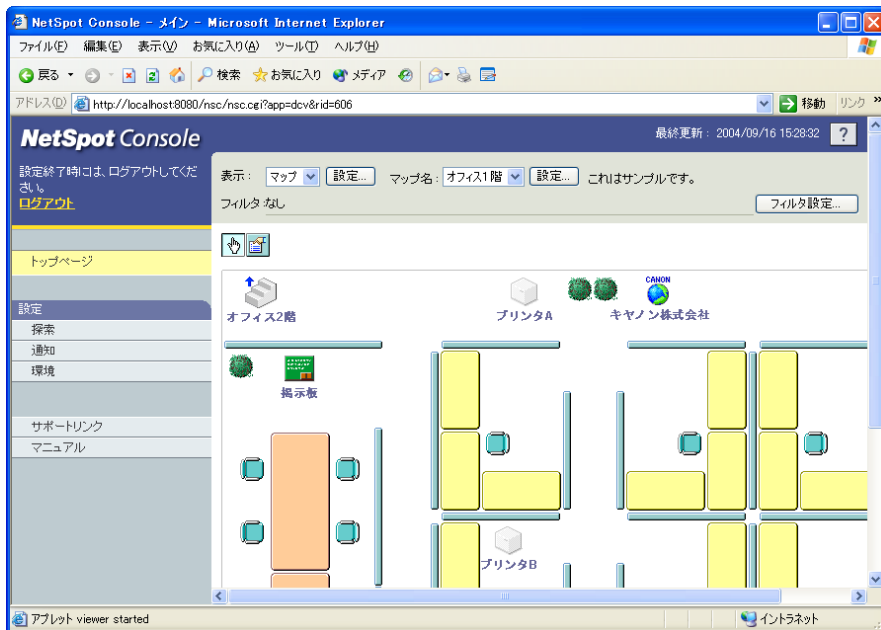
## ■ デバイスリスト

Web ブラウザで NetSpot Console にアクセスすると、ネットワーク上のデバイスの一覧が表示されます。



## ■ デバイスマップ

デバイスの実際のレイアウトに合わせたデバイスマップを表示することができます。



**メモ**

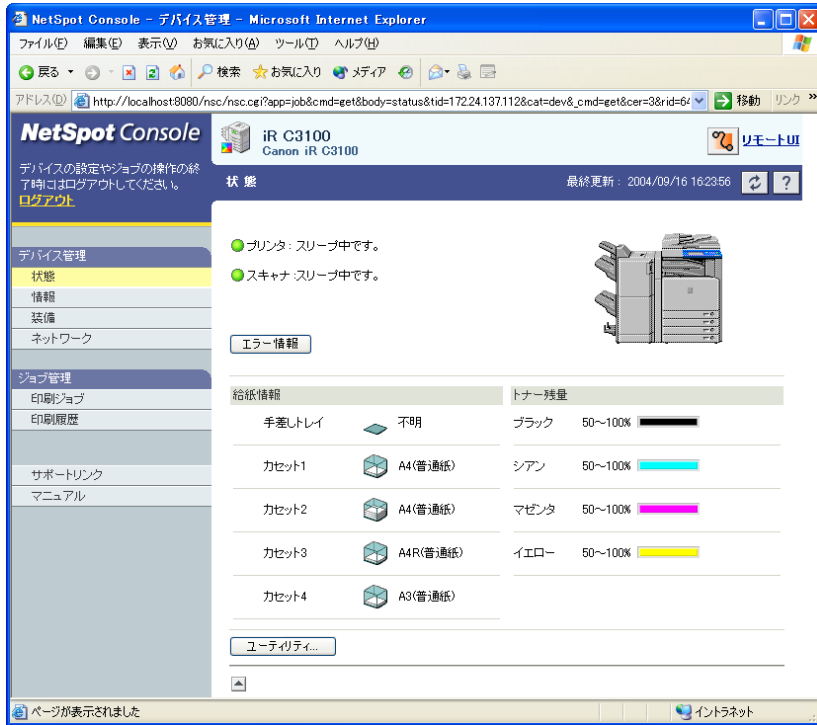
インストール直後にデバイスマップ表示を選択すると、サンプルのデバイスマップが表示されます。お使いの環境に合わせたデバイスマップを表示させるには、デバイスマップを作成する必要があります。詳細は、オンラインマニュアルを参照してください。

1

ご使用の前に

## ■ デバイスの詳細情報

デバイスリスト、あるいはデバイスマップ上で管理したいデバイスを選択すると、デバイスの詳細情報が画面に表示され、各プロトコルの設定、デバイスの現在の状態表示、印刷ジョブの操作などを行うことができます。



メモ

デバイスリスト、あるいはデバイスマップ上で管理したいデバイスを選択すると、そのデバイスに内蔵されている Web ページ（リモート UI など）にジャンプするデバイスもあります。

# 必要なシステム環境

NetSpot Console を利用するには、次のシステム環境が必要です。

## ■ サーバ

- OS
  - ・ Microsoft Windows 98/Me
  - ・ Microsoft Windows NT Server/Workstation 4.0 + Service Pack 6a 以降
  - ・ Microsoft Windows 2000 Server/Professional
  - ・ Microsoft Windows XP Professional/Home Edition
  - ・ Microsoft Windows Server 2003
- Web サーバ
  - ・ NetSpot Console 専用 Web サーバ（NetSpot Console のインストール時に自動的にインストールされます。）
- コンピュータ
  - ・ IBM PC およびその互換機
- ハードディスク
  - ・ 55MB 以上の空き領域（デバイスマップを作成する場合は、上記の空き領域に加えて、インストール先フォルダにデバイスマップの背景イメージを保存するための十分な空き領域が必要です。）
- Web サーバとデバイス間の通信に使用するプロトコル
  - ・ TCP/IP
  - ・ NetWare（NetWare サーバとして、Novell NetWare 5.1/6/6.5 のいずれかが必要です。）
- Web サーバと Web ブラウザ間の通信に使用するプロトコル
  - ・ TCP/IP（HTTP/HTTPS）


- プロトコルスタック

- ・ TCP/IP  
Windows に付属の TCP/IP プロトコル
- ・ NetWare : Windows 98 の場合  
Novell Client for Windows 95/98 Ver 3.32 以降、または Windows 98 に付属の NetWare クライアント (Novell Client を推奨)
- ・ NetWare : Windows Me の場合  
Windows Me に付属の NetWare クライアント
- ・ NetWare : Windows NT/2000/XP の場合  
Novell Client for Windows NT/2000/XP Ver 4.83 以降、または Windows NT/2000/XP Professional に付属の NetWare クライアント (Novell Client を推奨)
- ・ NetWare : Windows Server 2003 の場合  
Windows Server 2003 に付属の NetWare クライアント

## ■ クライアント

- Web ブラウザ

- ・ Microsoft Internet Explorer 5.0 以降
- ・ Netscape 6 以降

-  **重要** • NetSpot Console は、インストール時に表示言語として日本語と英語のいずれかを選択することができますが、英語版の OS にインストールする場合は、日本語を選択することはできません。
- NetSpot Console との通信内容を暗号化したい場合 (SSL を使用する場合は、NetSpot Console を Windows 2000/XP/Server 2003 にインストールしてください。
- NetSpot Console では、以下の機能を使用するときに Java アプレットを実行します。これらの機能を使用する場合は、クライアントコンピュータに Java ソフトウェアをインストールしてください。(Netscape 6 では、以下の機能は使用できません。Netscape 7 で以下の機能を使用する場合は、Netscape 7 をインストールするときに Java 2 のインストールを指定してください。Mac OS X 版の Netscape 7 では、Java 2 をインストールしても以下の機能は使用できません。)
  - ・ デバイスマップの表示
  - ・ デバイスマップの新規作成・編集
  - ・ NetWare オブジェクトの操作
  - ・ Web ブラウザ通知
- Windows 上で Internet Explorer をお使いの場合は、以下の点にご注意ください。
  - ・ Windows XP、Windows Server 2003 には、Java ソフトウェアは含まれていません。Java ソフトウェアを入手して、インストールしてください。
  - ・ Microsoft VM (Microsoft Virtual Machine) の Build 3309 より古いバージョンがインストールされている環境では、デバイスマップを正しく表示できないことがあります。その場合は、最新の Java ソフトウェアを入手して、インストールしてください。(Microsoft VM の build 番号を確認するには、DOS のコマンドプロンプトで「jview」と入力してキーボードの [ENTER] キーを押します。最初の行に表示されているバージョン番号の最後の 4 桁の数字が、Microsoft VM の build 番号です。)
  - ・ 最新の Java ソフトウェアは、サン・マイクロシステムズの Web サイトからダウンロードできます。

- NetSpot Console を NetWare 環境で使用する場合は、プロトコルスタックとして Novell Client をお使いになることをおすすめします。Novell Client 以外の NetWare クライアントソフトウェアを使用する場合は以下のような制限があります。
  - ・ NetSpot Console でプリントサーバ、ファイルサーバ、NDS ツリー、コンテキスト、ボリュームを設定するには、テキストボックスにそれぞれの名称を入力する必要があります。(Novell Client を使用すると、各項目をリストから選択することができます。)
  - ・ NetWare のログイン/ログアウト機能、オブジェクト (プリントサーバ、プリンタ、キュー) の生成機能は使用できません。
  - ・ SAP テーブルを使用した探索は行えません。
- Macintosh 版の Internet Explorer で NetSpot Console を使用する場合は、以下のような制限があります。
  - ・ NetSpot Console がインストールされているコンピュータのプロトコルスタックが Novell Client であっても、NetWare のログイン/ログアウト機能、オブジェクト (プリントサーバ、プリンタ、キュー) の生成機能は使用できません。
  - ・ デバイスマップ機能は使用できません。
  - ・ Web ブラウザ通知機能は使用できません。

# 1

ご使用の前に



# NetSpot Console を使用する するには

# 2

## CHAPTER

NetSpot Console のインストール・アンインストール手順と使いかたについて説明しています。

---

NetSpot Console をインストールする	2-2
NetSpot Console のインストール	2-2
Windows のファイアウォールの設定	2-6
SSL の設定をする	2-8
証明書を作成する	2-8
証明書をインストールする	2-13
Web サーバの設定をする	2-14
NetSpot Console を使用する	2-16
NetSpot Console にアクセスする	2-16
デバイスを管理する	2-17
NetSpot Console を管理する	2-17
NetSpot Console の詳しい使用方法	2-19
NetSpot Console をアンインストールする	2-20

# NetSpot Console をインストールする

NetSpot Console は、ネットワーク上の 1 台のコンピュータにインストールします。(各コンピュータにインストールする必要はありません。)

## NetSpot Console のインストール

- 重要**
  - Ver.3.10 より古いバージョンの NetSpot Console をインストールしたことのあるコンピュータに、本バージョンの NetSpot Console をインストールする場合は、各コンピュータのブラウザのキャッシュをクリアしてください。キャッシュをクリアしないで使用すると、オンラインマニュアルやヘルプが正しく表示されないことがあります。
  - NetSpot Console との通信内容を暗号化したい場合 (SSL を使用する場合は)、NetSpot Console を Windows 2000/XP/Server 2003 にインストールしてください。
  - NetSpot Console を Windows NT/2000/XP/Server 2003 にインストールする場合は、あらかじめ Windows に Administrators のメンバーとしてログオンしてください。
  - Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS にインストールする場合、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合は、NetSpot Console のインストールが完了したら、ファイアウォールの設定をしてください。(→ Windows のファイアウォールの設定 : P.2-6)
  - インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。
- メモ** NetSpot Console を NT ファイルシステム (NTFS) ドライブ上にインストールした場合は、NTFS ディレクトリのアクセス権を正しく設定しておく必要があります。(初期状態では、通常 Everyone にフルコントロールの権限が与えられています。この設定を変更する必要はありません。)



### 1 NetSpot Console をインストールするコンピュータに、Version 3.00 より古いバージョンの NetSpot Console がインストールされている場合は、古いバージョンの NetSpot Console を削除します。

アンインストールする手順は「NetSpot Console をアンインストールする」(→ P.2-20) を参照してください。

### 2 NetSpot Console をインストールするコンピュータで、[NetSpot\_Console] フォルダの中にある [setup.exe] を実行します。


[セットアップ言語の選択] ダイアログボックスが表示されます。

### 3 NetSpot Consoleの画面表示に使用する言語を選択します。

-  **重要**
  - インストール後に表示言語を変更することはできません。
  - 英語版の OS にインストールする場合は、日本語を選択することはできません。
-  **メモ**
  - インストール中の画面も、選択した言語で表示されます。
  - インストール手順や初期設定に関して、英語による説明が必要なときは、英語版のユーザーズガイドを参照してください。

### 4 [OK] をクリックします。

NetSpot Console - InstallShield ウィザードが起動します。

-  **メモ** インストール中に表示される [セットアップ タイプ] ウィンドウで [カスタム] を選択すると、NetSpot Console で管理したいデバイスの機能のみをインストールすることができます。手順は次のとおりです。
  - [カスタム セットアップ] ウィンドウで、不要なデバイスを選択し、[×] を選択します。
  - [次へ] をクリックし、画面の指示に従って操作を続けます。

### 5 画面の指示に従ってインストールします。

インストールの途中で、NetSpot Console専用WebサーバのHTTPポート番号とHTTPSポート番号を設定します。(Windows 98/Me/NT にインストールする場合は、HTTPポート番号のみを設定します。) ポート番号は、インストール後に NetSpot Console 上または NetSpot Console Manager で変更することもできます。



- HTTPSは、NetSpot Console 専用WebサーバとWebブラウザ間で、送受信データを暗号化して通信するとき使用するプロトコルです。HTTPS ポート番号が設定されていても、NetSpot Console がインストールされているコンピュータにサーバ証明書がインストールされていない場合は、HTTP で通信を行います。サーバ証明書のインストールについては、「SSL の設定をする」(→ P.2-8) を参照してください。
- ポート番号は、他のアプリケーションソフトウェアと競合しない番号を設定してください。ポート番号が他のアプリケーションソフトウェアと競合した場合、Web ブラウザから NetSpot Console 専用 Web サーバにアクセスできないことがあります。
- ポート番号が他のアプリケーションソフトウェアと競合した場合は、NetSpot Console Manager またはコマンドラインでポート番号を変更してください。NetSpot Console Manager で変更する手順は、NetSpot Console Manager のヘルプを参照してください。コマンドラインで変更する手順は、以下のとおりです。
  1. wnwebserv.exe が入っている、NetSpot Console をインストールしたフォルダに移動します。
  2. 以下のように入力して、新しいポート番号を設定します。
    - HTTP ポート番号を変更する場合：
 

```
>wnwebserv.exe -port <new port number>
```

 入力例：
 

```
>wnwebserv.exe -port 8080
```
    - HTTPS ポート番号を変更する場合：
 

```
>wnwebserv.exe -httpsport <new port number>
```

 入力例：
 

```
>wnwebserv.exe -httpsport 8181
```

## 6 NetWare環境でNovell Clientを使用する場合は、Novell Clientを設定します。

NetSpot Console をインストールしたコンピュータで設定します。各コンピュータで設定する必要はありません。

お使いの OS と Novell Client のインストール方法によって、必要な設定は以下のように異なります。

- [標準インストール] を選択した場合

OS	必要な設定
Windows 98	—
Windows NT	Novell Client のプロパティの [プロトコルの初期設定] ページで、[優先ネットワークプロトコル] を [IPX] に設定
Windows 2000	Novell Client のプロパティの [プロトコルの初期設定] ページで、[優先ネットワークプロトコル] を [IPX] に設定
Windows XP	—


- [カスタムインストール] を選択した場合

OS	[クライアントで使用するプロトコルオプション]			
	[IP および IPX]	[IPX]	[IP のみ]	[IP (IPX 互換性あり)]
Windows 98	—	—	NetSpot Console で NetWare のファイルサーバ名などを表示できない	
Windows NT	Novell Client のプロパティの [プロトコルの初期設定] ページで、[優先ネットワークプロトコル] を [IPX] に設定	—	NetSpot Console で NetWare のファイルサーバ名などを表示できない	
Windows 2000	Novell Client のプロパティの [プロトコルの初期設定] ページで、[優先ネットワークプロトコル] を [IPX] に設定		ネットワークの接続のプロパティで [SAP エージェント] をインストールしたあと、Novell Client のプロパティの [プロトコルの初期設定] ページで、[優先ネットワークプロトコル] を [IPX] に設定	—
Windows XP	—	—	ネットワークの接続のプロパティで [サービスアドバイズプロトコル] をインストール	NetSpot Console の NetWare 機能を使用できない

## Windows のファイアウォールの設定

Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合は、NetSpot Console をブロック対象外のプログラムとして登録する必要があります。

登録する手順は以下のとおりです。

-  **メモ**
- NetSpot Console が正常に動作するためには、以下の 2 つのファイルを登録する必要があります。
    - ・ wnappsrv.exe
    - ・ wnwebsrv.exe
  - ここでは、Windows XP Service Pack 2 の場合を例に説明しています。

### 1 NetSpot Console がインストールされているコンピュータで、[スタート] メニューの [コントロール パネル] を選択して、[セキュリティ センター] をクリックします。

[Windows セキュリティ センター] ウィンドウが表示されます。

### 2 [Windows セキュリティ センター] ウィンドウの下のほうにある [Windows ファイアウォール] をクリックします。

[Windows ファイアウォール] ダイアログボックスが表示されます。

### 3 "wnappsrv.exe" を例外プログラムとして登録します。

- [Windows ファイアウォール] ダイアログボックス] で [例外] タブをクリックします。

[例外] ダイアログボックスが表示されます。

- [例外] ダイアログボックスで [プログラムの追加] をクリックします。

[プログラムの追加] ダイアログボックスが表示されます。

- [プログラムの追加] ダイアログボックスで [参照] をクリックします。

[参照] ダイアログボックスが表示されます。

- [参照] ダイアログボックスで、NetSpot Console がインストールされているフォルダに移動して、"wnappsrv.exe" を選択したあと、[開く] をクリックします。

[プログラムの追加] ダイアログボックスに戻ります。

- [プログラムの追加] ダイアログボックスで、一覧から "wnappsrv.exe" を選択して、[OK] をクリックします。

[Windows ファイアウォール] ダイアログボックスに戻ります。

#### **4** "wnwebsrv.exe" を例外プログラムとして登録します。

手順 3 の操作と同様にして、"wnwebsrv.exe" を登録します。

#### **5** [Windows ファイアウォール] ダイアログボックスで、 "wnappsrv.exe" と "wnwebsrv.exe" にチェックマークがついている ことを確認して、[OK] をクリックします。

---

これで、登録作業は完了しました。

---



# SSL の設定をする

2

NetSpot Console を使用する前に

NetSpot Console 専用 Web サーバと Web ブラウザ間で、送受信データを暗号化して通信するには、通信プロトコルとして HTTPS を使用します。HTTPS は SSL によるデータ暗号化機能が付加された通信プロトコルです。

HTTPS を使って通信するには、サーバ証明書のインストールと、Web サーバの設定が必要です。サーバ証明書は、認証機関から認証されていない証明書（自己署名証明書）と、認証機関から認証された証明書の 2 種類があります。

- 重要**  • あらかじめ Windows に Administrators のメンバーとしてログオンしてください。
- 以下の説明では、NetSpot Console が、Windows のシステムがインストールされているドライブ（通常は C ドライブ）の ¥Program Files¥Canon¥nsc にインストールされていることを前提にしています。NetSpot Console のインストール時に別のインストール先を指定した場合は、指定したパスに置き換えて操作してください。
- メモ**  • NetSpot Console を Windows 98/Me/NT にインストールした場合は、SSL を使って通信することはできません。
- SSL を使用しない場合は、以下の作業をする必要はありません。NetSpot Console のインストールが完了したら、「NetSpot Console を使用する」（→ P.2-16）を参照してください。

## 証明書を作成する

### ■ 自己署名証明書を作成する場合

「自己署名証明書を作成する」（→ P.2-8）を参照してください。

### ■ 認証機関から認証された証明書を作成する場合

「認証機関から認証された証明書を作成する」（→ P.2-10）を参照してください。

## 自己署名証明書を作成する

### 1 証明書の作成に必要な情報をファイルに保存します。

- NetSpot Console をインストールしたコンピュータで、テキストエディタを起動します。



- 新規のファイルに、以下の内容を入力します。

項目	説明	最大文字数
CN (Common Name)	NetSpot Console がインストールされているコンピュータのホスト名	半角 64 文字
OU (Organization Unit)	部門名	半角 64 文字
O (Organization)	会社名または組織名	半角 64 文字
L (Locality)	都市名 (市区町村名)	半角 128 文字
S (State)	都道府県名	半角 128 文字
C (Country/Region)	国 / 地域コード (ISO-3166 で定められているアルファベット 2 文字。日本の場合は "JP")	-

各項目には、半角の英数字と記号が使用できます。

入力例：  
 CN=nsc\_server  
 OU=NSC Development Dept.  
 O=NetSpot Console  
 L=chiyoda-ku  
 S=Tokyo  
 C=JP

- 上記のファイルに任意の名前を付けて、C:¥Program Files¥Canon¥nsc の下に保存します。(例：nsc-cert.txt)

## 2 手順 1 で作成したファイルを元に、証明書(PFX ファイル)を作成します。

- NetSpot Consoleをインストールしたコンピュータで、[スタート]メニューの [プログラム] (Windows XP の場合は [すべてのプログラム]) - [アクセサリ] から [コマンドプロンプト] を選択します。
- 以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。  
 > cd "C:¥Program Files¥Canon¥nsc"
- 以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。  
 > wncerttool -inputfile <手順 1 で保存したファイル名> -outputfile <出力ファイル名>  
 入力例：  
 > wncerttool -inputfile nsc-cert.txt -outputfile nsc-cert.pfx



出力ファイル名の指定は省略することができます。省略したときの出力ファイル名は、"certPFX.pfx" となります。

- ❑ パスワードの入力を要求されたら、任意のパスワードを入力して、[Enter] キーを押します。再びパスワードの入力を要求されるので、1 回目に入力したものと同一パスワードを入力して、[Enter] キーを押します。

入力した文字は、画面上ではすべて "\*" で表示されます。

パスワードの設定に成功すると、PFX ファイルが作成された、という内容のメッセージが表示され、コマンドプロンプトに戻ります。

- 📌 **メモ**
  - ここで設定したパスワードは、証明書をインストールするときに使用します。
  - すでに出力ファイル名として指定したファイル（または、出力ファイル名を省略したときの "certPFX.pfx" というファイル）が存在する場合は、上書きするかどうかの確認を求められます。既存のファイルが不要であれば "y" を選択します。上書きしたくない場合は、"n" を入力してプログラムを終了し、既存のファイルの名称を変更するか、または出力ファイル名を変更して、手順 2 の操作をやりなおしてください。
  - この手順で作成された PFX ファイルは、C:¥Program Files¥Canon¥nsc の下に保存されています。これが、自己署名証明書です。

---

これで証明書が作成されました。続いて、証明書をインストールします。(→証明書をインストールする：P.2-13)

---

## 認証機関から認証された証明書を作成する

### 1 証明書の作成に必要な情報をファイルに保存します。

ファイルの作成手順は、「自己署名証明書を作成する」(→ P.2-8) の手順 1 と同様です。

### 2 手順 1 で作成したファイルを元に、認証を受けるために必要な証明書署名要求ファイル (CSR ファイル) を作成します。

- ❑ NetSpot Consoleをインストールしたコンピュータで、[スタート]メニューの [プログラム] (Windows XP の場合は [すべてのプログラム]) - [アクセサリ] から [コマンドプロンプト] を選択します。
- ❑ 以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。

```
> cd "C:¥Program Files¥Canon¥nsc"
```

- ❑ 以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。

```
> wncerttool -csr -inputfile <手順 1 で保存したファイル名> -outputfile <出力ファイル名>
```

入力例：

```
> wncerttool -csr -inputfile nsc-cert.txt -outputfile nsc-cert.req
```

証明書署名要求ファイルが作成された、という内容のというメッセージが表示され、コマンドプロンプトに戻ります。これで、認証を受けるために必要な CSR ファイルが作成されました。

- **メモ** 出力ファイル名の指定は省略することができます。省略したときの出力ファイル名は、"csr.req" となります。
- すでに出力ファイル名として指定したファイル（または、出力ファイル名を省略したときの "csr.req" というファイル）が存在する場合は、上書きするかどうかの確認を求められます。既存のファイルが不要であれば "y" を選択します。上書きしたくない場合は、"n" を入力してプログラムを終了し、既存のファイルの名称を変更するか、または出力ファイル名を変更して、手順 2 の操作をやりなおしてください。
- この手順で作成された CSR ファイルは、C:¥Program Files¥Canon¥nsc の下に保存されています。これが認証を受けるために必要な証明書署名要求ファイルです。

### 3 認証機関に、証明書の発行を依頼します。

- **メモ** Web ブラウザに登録されている認証機関などを参考にして、発行を依頼する認証機関を決めてください。
- 認証機関が発行する証明書は有料です。
- テスト用の証明書を無料で発行する認証機関もあります。
- **認証機関の申請方法に従って申請手続きを行います。**

申請方法は、認証機関によって異なります。詳細は、認証機関の説明書を参照してください。
- **証明書署名要求 (CSR) の送付を指示されたら、手順 2 で作成した CSR ファイルをエディタで開き、すべての内容をコピーして、指定された場所にペーストします。**
- **引き続き、認証機関の指示に従って手続きを行います。**

手続きが完了すると、認証機関から証明書が発行されます。
- **メモ** テスト用ではなく、正式な証明書を購入する場合は、証明書の発行に数日かかることがあります。詳細は、認証機関の説明書を参照してください。

### 4 認証機関から発行された証明書を保存します。

- **メモ** 発行方法は、認証機関によって異なります。Web ブラウザ上に証明書を表示する方法や、電子メールで送付する方法などがあります。詳細は、認証機関の説明書を参照してください。
- **エディタで新規のファイルを開き、認証機関から発行された証明書のすべての内容をコピー&ペーストします。**
- **上記のファイルに任意の名前を付けて、C:¥Program Files¥Canon¥nsc の下に保存します。**

ファイルの拡張子は、"cer" とします。（例：nsc-cert.cer）


## 5 インストールに使用する証明書を作成します。

- C:¥Program Files¥Canon¥nsc フォルダで、以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。

```
> wngenpfx -certfile <手順4で保存したファイル名> -outputfile <出力ファイル名>
```

入力例：


```
> wngenpfx -certfile nsc-cert.cer -outputfile nsc-cert.pfx
```

 **メモ** 出力ファイル名の指定は省略することができます。省略したときの出力ファイル名は、"certPFX.pfx"となります。

- パスワードの入力を要求されたら、任意のパスワードを入力して、[Enter] キーを押します。再びパスワードの入力を要求されるので、1 回目に入力したものと同一パスワードを入力して、[Enter] キーを押します。

入力したパスワードは、画面上ではすべて "\*" で表示されます。

パスワードの設定に成功すると、PFX ファイルが作成された、という内容のメッセージが表示され、コマンドプロンプトに戻ります。

-  **メモ**
  - ここで設定したパスワードは、証明書をインストールするときに使用します。
  - すでに出力ファイル名として指定したファイル（または、出力ファイル名を省略したときの "certPFX.pfx" というファイル）が存在する場合は、上書きするかどうかの確認を求められます。既存のファイルが不要であれば "y" を選択します。上書きしたくない場合は、"n" を入力してプログラムを終了し、既存のファイルの名称を変更するか、または出力ファイル名を変更して、手順5の操作をやりなおしてください。
  - この手順で作成されたPFXファイルは、C:¥Program Files¥Canon¥nsc の下に保存されています。

---

これで証明書が作成されました。続いて、証明書をインストールします。(→証明書をインストールする：P.2-13)

---

### 1 「証明書を作成する」(→ P.2-8) の手順に従って作成した証明書 (PFX ファイル) を Windows のシステムにインストールします。

- NetSpot Consoleをインストールしたコンピュータで、[スタート]メニューの [プログラム] (Windows XP の場合は [すべてのプログラム]) - [アクセサリ] から [コマンドプロンプト] を選択します。
- 以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。
- 以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。

```
> cd "C:¥Program Files¥Canon¥nsc"
```

```
> wncert -install <PFX ファイル名>
```

入力例：

```
> wncert -install certPFX.pfx
```

- パスワードの入力を要求されたら、証明書を作成するときに設定したパスワードを入力します。


入力したパスワードが正しいことが確認されると、証明書がインストールされた、という内容のメッセージが表示されて、コマンドプロンプトに戻ります。これで証明書のインストールが完了しました。

### 2 証明書のリストを更新します。

- 以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。

```
> wnlistcert
```

手順 1 でインストールした証明書の内容が表示され、証明書のリストが更新されます。

 **メモ** 複数の証明書がインストールされている場合は、続けて他の証明書も表示されます。


### 3 NetSpot Console 専用 Web サーバが使用する証明書を選択します。

- 以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。

```
> wnwebsrv -certselect <CERT ID>
```

入力例：

```
> wnwebsrv -certselect CN-00001
```


 **メモ** <CERT ID> は、手順 2 で表示された証明書の最初の行に書かれています。複数の証明書がインストールされているときは、使用する証明書の ID を入力します。

---

これで証明書がインストールされました。続いて、Web サーバの設定をします。(→ Web サーバの設定をする：P.2-14)

---

## Web サーバの設定をする

-  **メモ** 手順 2 に記載されているブラウザのセキュリティに関するメッセージは、Internet Explorer のものです。ブラウザによって、メッセージが表示される順番や内容が多少異なります。また、お使いのブラウザの設定によっては、手順中に記載されているメッセージが表示されないことがあります。

### 1 NetSpot Console 専用 Web サーバの HTTPS の設定をします。


- NetSpot Consoleをインストールしたコンピュータで、[スタート]メニューの [プログラム] (Windows XP の場合は [すべてのプログラム]) - [アクセスサリ] から [コマンドプロンプト] を選択します。
- 以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。  
> cd "C:¥Program Files¥Canon¥nsc"
- 以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。  
> wnwebserv -https ON  
これで、HTTPS による通信ができるようになりました。
- HTTP によるアクセスを HTTPS によるアクセスに自動的に切り替えたい場合は、以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。  
> wnwebserv -forceredirect ON  
これで、HTTP によるアクセスが HTTPS によるアクセスに自動的に切り替わるように設定できました。

### 2 HTTPS による通信ができることを確認します。

- Web ブラウザを起動し、URL を指定する欄に以下の URL を入力します。  
https:// <NetSpot Consoleがインストールされているコンピュータ名> :  
< HTTPS ポート番号> /nsc/index.html  
入力例 :  
https://nsc\_server:8181/nsc/index.html
- 「セキュリティで保護された接続でページを表示しようとしています。」というメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

- 「このサイトと取り交わす情報は、ほかの人から読み取られたり変更されることはありません。しかし、このサイトのセキュリティ証明書には問題があります。」というメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

NetSpot Console の画面が表示されます。これで、HTTPS による通信ができることを確認できました。

-  **メモ**
- 自己署名証明書を使用している場合に、「このセキュリティ証明書は、信頼する会社から発行されていません。証明書を表示して、この証明機関を信頼するかどうか決定してください。」というメッセージが表示されるのは、証明書が認証機関から認証されたものではないためです。
  - NetSpot Console がインストールされているコンピュータで、[スタート] メニューから NetSpot Console を起動した場合、または Web ブラウザで "https://localhost:< HTTPS ポート番号 > /nsc/index.html" を指定した場合は、「セキュリティ証明書の名前が無効であるか、またはサイト名と一致しません。」というメッセージが出ます。これは、実際に NetSpot Console にアクセスするときに使用している "localhost" というホスト名が、証明書を作成するときに指定したホスト名 (NetSpot Console がインストールされているコンピュータのホスト名) と一致しないためです。

### 3 HTTP によるアクセスが HTTPS によるアクセスに自動的に切り替わるように設定した場合は、自動切換の動作を確認します。

- Web ブラウザを起動し、URL を指定する欄に以下の URL を入力します。

http:// <NetSpot Consoleがインストールされているコンピュータ名 > : < HTTP  
ポート番号 > /nsc/index.html


入力例 :

http://nsc\_server:8080/nsc/index.html

-  **メモ**
- NetSpot Console がインストールされているコンピュータでは、[スタート] メニューから NetSpot Console を起動して NetSpot Console にアクセスすることもできます。

- 手順 2 と同様のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

URL は、自動的に手順 2 で指定したものに変わり、NetSpot Console の画面が表示されます。これで、HTTP によるアクセスが HTTPS によるアクセスに自動的に切り替わることを確認できました。

-  **メモ**
- HTTPS による通信ができないときは、以下のことを確認してください。
    - ・ 証明書をインストールするまでの手順に間違いがないか
    - ・ HTTPS ポート番号が他のアプリケーションで使用しているポート番号と重複していないかどうか
    - ・ Web ブラウザやファイアウォールが SSL を使用できるように設定されているかどうか

# NetSpot Console を使用する

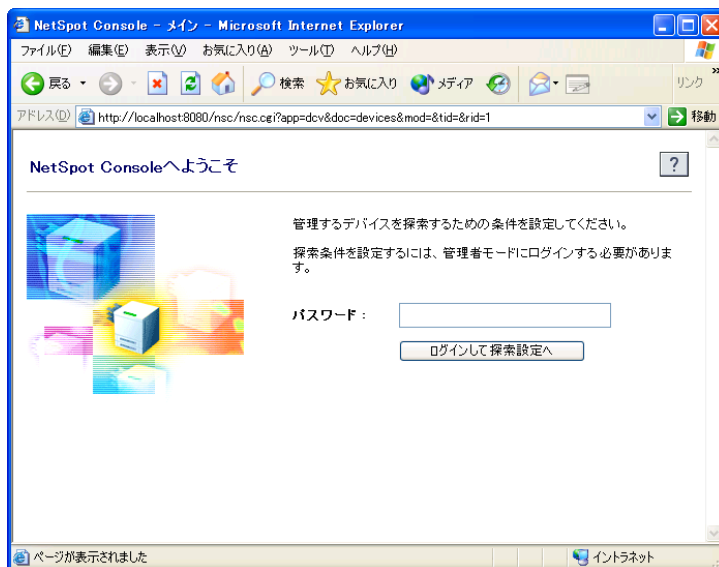
ネットワーク上の 1 台のコンピュータに NetSpot Console をインストールすると、HTTP プロトコルで通信できる各コンピュータから、NetSpot Console を使用できます。


## NetSpot Console にアクセスする

- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 URL を指定する欄に、以下の URL を入力します。

http:// < NetSpot Console をインストールしたコンピュータ名 > : < HTTP ポート番号 > /nsc/index.html

NetSpot Console の画面が表示されます。



-  **メモ** • NetSpot Console をインストールしたコンピュータでは、[スタート] メニューに NetSpot Console へのインターネットショートカットが作成されます。[スタート] メニューの [プログラム] - [NetSpot Console] - [NetSpot Console] を選択すると、NetSpot Console にアクセスできます。
- HTTPS を使用する場合は設定およびアクセス方法は、「SSL の設定をする」(→ P.2-8) を参照してください。



## デバイスを管理する


ネットワークに接続されているデバイスを NetSpot Console で管理するには、まず最初に探索方法や探索条件を設定する必要があります。また、NetSpot Console がインストールされているコンピュータと各デバイスとが通信できるように設定する必要があります。

### 探索条件を設定する

#### 1 ネットワーク上のデバイスの探索方法や探索条件を設定します。

設定方法は、オンラインマニュアルやオンラインヘルプを参照してください。

### デバイスのネットワークプロトコルの設定をする

 **メモ** NetSpot Console にアクセスしたときに、デバイスリストに目的のデバイスが表示されている場合は、すでにコンピュータとそのデバイスは通信できる状態になっていますので、以下の作業を行う必要はありません。


#### 1 デバイスの取扱説明書またはネットワークボードの取扱説明書を参照して、デバイスの TCP/IP プロトコルまたは NetWare プロトコルの設定を行います。

## NetSpot Console を管理する


NetSpot Console や NetSpot Console 専用 Web サーバのサービスを管理するには、NetSpot Console Manager を使用します。NetSpot Console Manager は、NetSpot Console のインストール時に、同時にインストールされます。

NetSpot Console Manager では以下を行えます。

- NetSpot Console と NetSpot Console 専用 Web サーバのサービス状態の変更
- NetSpot Console 専用 Web サーバとブラウザ間の通信方法の変更
- NetSpot Console へのアクセス制限の解除

 **重要** NetSpot Console をインストールした直後は、NetSpot Console は使用可能な状態になっています。システムのトラブルの発生など、上記の設定を変更する必要がある場合に、NetSpot Console Manager を使用することをおすすめします。

## NetSpot Console Manager を起動する

 **重要** NetSpot Console が Windows NT/2000/XP/Server 2003 にインストールされている場合は、あらかじめ Windows に Administrators のメンバーとしてログオンしてください。

- 1** NetSpot Console をインストールしたコンピュータで、[スタート] メニューの [プログラム] – [NetSpot Console] – [NetSpot Console Manager] を選択します。

NetSpot Console Manager が起動します。

## NetSpot Console Manager の使用方法

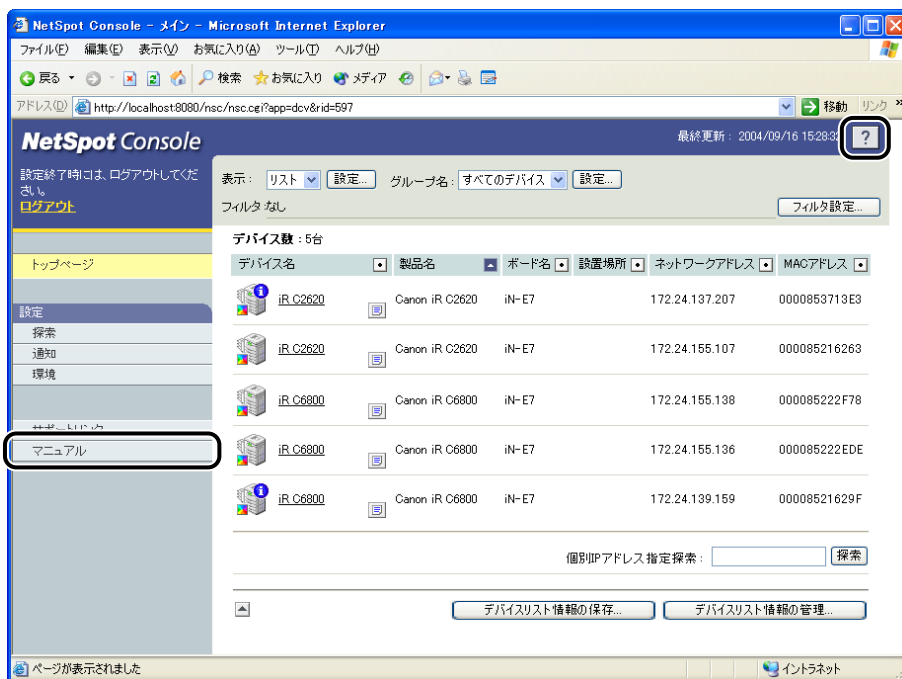
NetSpot Console Manager の詳しい使用方は、ヘルプを参照してください。NetSpot Console Manager の [ヘルプ] をクリックすると、ヘルプが Web ブラウザ上に表示されます。

## NetSpot Console Manager をアンインストールする

NetSpot Console Manager は、単独でアンインストールすることはできません。NetSpot Console をアンインストールすると、同時にアンインストールされます。

# NetSpot Console の詳しい使用方法

NetSpot Console の詳しい使用方法は、オンラインマニュアルとヘルプを参照してください。



## ■ オンラインマニュアル

NetSpot Console のさまざまな機能の概要と操作手順について説明しています。NetSpot Console をお使いになるときに最初にお読みください。

NetSpot Console の画面の左側に表示される [マニュアル] をクリックすると、オンラインマニュアルの目次が表示されます。

## ■ ヘルプ

NetSpot Console 画面の右上に表示される ? (ヘルプ) をクリックすると、画面に応じたヘルプが表示されます。表示されている画面でわからない項目があるときにお読みください。

# NetSpot Console をアンインストールする

NetSpot Console を Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 からアンインストールする場合は、あらかじめ Windows に Administrators のメンバーとしてログオンしてください。

- 1** NetSpot Console がインストールされているコンピュータで、[スタート] メニューの [設定] - [コントロールパネル] を選択して、[アプリケーションの追加と削除] アイコン (Windows XP/Server 2003 の場合は [プログラムの追加と削除] アイコン) をダブルクリックします。
- 2** アプリケーションソフトウェアの一覧で、NetSpot Console を選択して [追加と削除] (Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合は [変更と削除]) をクリックします。  
NetSpot Console - InstallShield ウィザードが表示されます。
- 3** [次へ] をクリックします。
- 4** [プログラムの保守] ウィンドウで [削除] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 5** [プログラムの削除] ウィンドウで、[削除] をクリックします。  
操作を変更したいときは、[戻る] をクリックします。操作を中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。
- 6** [InstallShield ウィザードを完了しました] ウィンドウが表示されたら、[完了] をクリックします。



一部のデバイス用のモジュールのみを削除することもできます。手順は次のとおりです。

1. [スタート] メニューの [設定] - [コントロールパネル] を選択して、[アプリケーションの追加と削除] (Windows XP/Server 2003 の場合は [プログラムの追加と削除]) を選択します。
2. NetSpot Console の [追加と削除] (Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は [変更と削除]) をクリックします。
3. [プログラムの保守] ウィンドウで [変更] を選択し、[次へ] をクリックします。
4. 削除したいデバイスのアイコンをクリックして [×] を選択します。
5. [次へ] をクリックし、画面の指示に従って操作を続けます。



# 付録

# 3

## CHAPTER

ここでは、索引を記載しています。

---

トラブルシューティング .....	3-2
NetSpot Console の管理者のパスワードを忘れたとき .....	3-2
索引.....	3-4

# トラブルシューティング

## NetSpot Console の管理者のパスワードを忘れたとき

NetSpot Console の管理者のパスワードを忘れてしまったときは、次の手順でパスワードを再設定することができます。

**重要** NetSpot Console が Windows NT/2000/XP/Server 2003 にインストールされている場合は、あらかじめ Windows に Administrators のメンバーとしてログオンしてください。

**1** NetSpot Console がインストールされているコンピュータで、[スタート] メニューの [設定] - [コントロールパネル] を選択して、[アプリケーションの追加と削除] アイコン (Windows XP/Server 2003 の場合は [プログラムの追加と削除] アイコン) をダブルクリックします。

**2** アプリケーションソフトウェアの一覧で、NetSpot Console を選択して [追加と削除] (Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合は [変更と削除]) をクリックします。

NetSpot Console - InstallShield ウィザードが表示されます。

**3** [次へ] をクリックします。

**4** [プログラムの保守] ウィンドウで [変更] を選択し、[次へ] をクリックします。

**5** もう一度、[次へ] をクリックします。

[パスワードの再設定] ウィンドウが表示されます。

**6** [管理者のパスワードを再設定する] を選択し、新しいパスワードを設定して、[次へ] をクリックします。

**7** [インストール] をクリックします。



- 8 [InstallShield ウィザードを完了しました] ウィンドウが表示されたら、**[完了]** をクリックします。

これでパスワードが再設定されました。

# 索引

## 英数字

- NetSpot Console Manager の使用方法 , 2-18
- NetSpot Console Managerをアンインストールする , 2-18
- NetSpot Console Manager を起動する , 2-18
- NetSpot Console にアクセスする , 2-16
- NetSpot Console のインストール , 2-2
- NetSpot Console の管理者のパスワードを忘れたとき , 3-2
- NetSpot Console の詳しい使用方法 , 2-19
- NetSpot Console の特長 , 1-2
- NetSpot Console をアンインストールする , 2-20
- NetSpot Console をインストールする , 2-2
  - NetSpot Console のインストール , 2-2
  - Windows のファイアウォールの設定 , 2-6
- NetSpot Console を管理する , 2-17
  - NetSpot Console Managerの使用法 , 2-18
  - NetSpot Console Managerをアンインストールする , 2-18
  - NetSpot Console Managerを起動する , 2-18
- NetSpot Console を使用する , 2-16
  - NetSpot Console にアクセスする , 2-16
  - NetSpot Console の詳しい使用方法 , 2-19
  - NetSpot Console を管理する , 2-17
  - デバイスを管理する , 2-17
- SSL の設定をする , 2-8
  - Web サーバの設定をする , 2-14
  - 証明書をインストールする , 2-13
  - 証明書を作成する , 2-8
- Web サーバの設定をする , 2-14
- Windows のファイアウォールの設定 , 2-6

## さ

- 自己署名証明書を作成する , 2-8
- 証明書をインストールする , 2-13
- 証明書を作成する , 2-8
  - 自己署名証明書を作成する , 2-8
  - 認証機関から認証された証明書を作成する , 2-10

## た

- 探索条件を設定する , 2-17
- デバイスのネットワークプロトコルの設定をする , 2-17
- デバイスを管理する , 2-17
  - 探索条件を設定する , 2-17
  - デバイスのネットワークプロトコルの設定をする , 2-17
- トラブルシューティング , 3-2
  - NetSpot Console の管理者のパスワードを忘れたとき , 3-2

## な

認証機関から認証された証明書を作成する ,  
2-10

## は

必要なシステム環境 , 1-5

# 3

## 付録



**Canon**